

特別競技規則

第1条 大会名称

2025FSW 第 18 回新春おもいっきり 7 時間耐久レース

第2条 主催者

有限会社大沼プランニング

〒981-1242 宮城県名取市高館吉田字東真坂 2-2

TEL.022-381-7021FAX.022-381-7020

第3条 開催場所

富士スピードウェイ国際レーシングコース

〒410-1307 静岡県駿東郡小山町中日向 694

第4条 開催日

2025 年 1 月 19 日(日)決勝 9:30 スタート

第5条 参加申し込み

1.受付期間 **2024 年 10 月 1 日(火)～**

2.受付場所

有限会社大沼プランニング

〒981-1242 宮城県名取市高館吉田字東真坂 2-2

TEL:022-381-7021FAX:022-381-7020

メール: info@onuma-p.com

3.参加料

①早割 10 月 1 日(火)～10 月 31 日(木) 消印日有効 1 チーム 240,000 円(税込)

②以降 1 チーム 270,000 円(税込)

4.申し込み方法

①参加申込書、車両申告書、参加料を添えて現金書留等での申し込み(※締切日消印有効)

②参加申込書、車両申告書、参加料の振込控え(PC 振込みの場合画面コピー等)を添付してメール等での申し込み

■参加料振込先：七十七銀行閉上(ゆりあげ)支店普通口座 5083591

■メールアドレス：info@onuma-p.com

参加申し込みはチーム代表者が行い、チームに関して一切の責任を追うものとする。

第6条 保険

ドライバーは大会当日、本競技に有効な生命保険に加入していること(プロドライバー以外は通常の生命保険でカバーされますが、一度ご確認ください。)

第7条 決勝出走台数

60 チーム (先着受付)

第8条 レース

決勝スタート 9 : 30 ゴール 16 : 30

第9条 ドライバーの参加資格及び登録人数

有効な運転免許証所持者で、**国際公認サーキット走行経験者(最低 1 時間以上)**であること。登録は 2～10 名までとする。

第10条 参加車両及びクラス区分

1.四輪自動車(但しフォーミュラ及びそれに準ずる車両は除く) オープンカーは、ローバー必着。

2.改造は自由だが安全でないと判断された個所については修正しなければ出走できない。

3.クラス区分

R1 クラス (スリックタイヤを使用する車両)

R2 クラス (S タイヤ及びラジアルタイヤを使用するレース用車両)

NS1 クラス (排気量 2700cc 超の S タイヤを使用するNo.付車両)

NS2 クラス (排気量 2700 cc までの S タイヤを使用するNo.付車両)

NR1 クラス (排気量 2700cc 超のノーマルラジアルを使用するNo.付車両)

NR2 クラス (排気量 2700 cc 迄のノーマルラジアルを使用するNo.付車両)

※加給機付 (排気量×1.5) ローターリー (排気量×1.4) とする

4.クラス登録は、登録車中の最上位クラスに区分される。(例：R2 車両の中に、R1 車両が含まれた場合 R1 クラス区分となります。)

※2 S タイヤ・ラジアルタイヤなど、タイヤ区分に関する解釈は別途定めるものとする。

第11条 ドライバーの装備

ダブルレジャー以上のレーシングスーツ及びレーシングシューズ・レシガードローブの着用を義務付けとする。ヘルメットは JIS 二種基準以上。また、**難燃性バクラバ帽及び HANS の使用を強く推奨**する。

第12条 参加受付、車両検査、ドライバーズブリーフィング

参加者は、タイムスケジュールに示された時間に従い参加受付をし、ドライバーズブリーフィングに各チーム 2 名参加しなければならない。車両検査は車検場にて行う。

第13条 スターティンググリッド

スターティンググリッドは申込受け付け順とする。

・スタートグリッドへの整列

・チームスタッフは指定のグリッドへ車両を誘導して下さい。

・整列の際は徐行して、グリッドについて下さい。

・グリッド上での記念撮影等は誘導の合図があるまで自由です。

第14条 スタート手順

1.スタートはローリングスタートで行われ、2 週のローリングラップを行う。

スタートの合図の後、**スタートラインを通過するまでは追越しは禁止**される。

2.スタートの手順や詳細はブリーフィング、公式通知等でお知らせする。

第15条 ペナルティ

1.黄旗区間の追い越し違反及び反則スタートは 1 件につき、1 回のドライブスルーペナルティを課する。

2.ピットロードの制限速度は 60 km/h です。速度超過は、ドライブスルー等のペナルティが課せられます。

第16条 ピット

1.ピットは指定されたピットを使用しなければならない。

2.ピット内は常に整理整頓に心がけ、作業エリアに工具等を出すのはピットインの直前に行い、終了したら速やかに撤収しなければならない。こぼれた燃料や、オイル等はふき取らなければならない。

第17条 ピットイン、ピットアウト

1.ピットインする際は最終コーナーから合図を出しながら、コース右側を走行しピットロードに入らなければならない。

2.ピットロードではファーストピットレーン(最左通路)を走行する車両が優先される。

3.ピットからファーストピットレーン(最左通路)に出る時はチームクルーが誘導すること。

4.EXIT レーンを出て本コースに合流する際は、本コースを走行してくる車両に充分注意し、1 コーナーを過ぎるまでは**コースの右側端**を走行しなければならない。

5.ピットエンドの信号が赤の場合、コースインできない。

第18条 燃料補給

1.**PIT 前(作業エリア)での給油可能**。その際エンジンは停止とする。但し、給油を行う者は耐火服を着用すること。また、耐火服を着た者が消火器を持って待機すること。なお、給油の際は、**ボディアースを強く推奨**する。

2.ピットインして、車両交代をせず給油を行う場合は、給油時間を 4 分間とする。なお、給油以外の作業は一切禁止とする。但し、給油終了後、4 分間に満たない場合でも、ドライバー交代は認める。

3.給油のカウント時間は、車両が作業エリアに停止した瞬間からとする。

4.補給缶は、市販の金属携行缶か、主催者が認めた物とする。

第19条 車両交代

1.車両交換をするチームは、その 1 周前に次に交換する車両を PIT 内に準備し、オフィシャルにその旨を伝えなければならない。

2.走行してきた車両を PIT 前に停止させ、ゼッケン及びトランスポンダを付け替えた後、車両を PIT 又はパドックに移動しなければならない。

3.ピット前に停止して 4 分経過後ピットアウトすることが出来る。その際、ファーストピットレーンを走行してくる車両がないことを確認しピットクルーの誘導で PIT アウトして下さい。

4.4 分間の停止時間は担当オフィシャルのタイマーを基準とします。

第20条 車両の整備について

(FSW は高速サーキットです。事故防止の為に、完全な整備で参加して下さい。)

1.参加車両は富士スピードウェイの走行に耐えうる車両で、且つ走行中トラブルなく走行できるよう完全に整備しなければならない。

2.車両の整備不良による重大な事故の原因を発生させたチーム、ドライバーは次の大会の出場が制限される場合がある。

第21条 車両の改造について

1.純正燃料タンクの改造及びタンクの追加は許されない。

2.R クラスの車両は燃料タンクを FIA 公認の安全タンクにのみ変更が出来る。

3.安全でないと判断された車両は出走が許されない。

第22条 ドライバー交代

1.ドライバーのみ交代を行う場合は停止義務時間の適用は無い。

2.ガソリンスタンドで**給油中ドライバー交代ができる**。

第23条 競技の終了

1.競技の終了は 7 時間経過後、トップの車両からチェッカーフラッグにより示される。

2.競技の時間には、赤旗中断時間も含まれる。

第24条 セーフティカー・FCY・赤旗中断

競技が正常な状態で進行することが不可能になったとき、セーフティカー又は FCY (フルコースイエロー) により一時非競技化される場合がある。

導入方法については、別途定めるものとする。

■赤旗中断時の対応について

・上記セーフティカー導入が難しい場合は赤旗中断となります。各コーナーポストでは赤旗が掲示されるので速やかにピットロードに戻り**各自のピットに待機**して下さい。この際ピットでの作業、ドライバーの交代は可能です。

・再スタートは、**グリッドからのローリングスタート**となります。再スタートのグリッドは、赤旗を提示する 1 周前の順位を基に作成されます。

・ローリング開始後、セーフティカーが回転灯を消灯してコースアウトし、シグナルタワーのグリーンランプ点灯で競技が再開される。**スタートライン**を通過するまでは追越しは禁止される。赤旗中断中も時間はカウントされる。

第25条 順位の認定

順位はフィニッシュラインを通過しチェッカー旗を受け、規定時間内の周回数の多い順とし、同周回の場合はフィニッシュラインの通過順とする。(チェッカー優先)

第26条 参加者の遵守事項

1.コースはいかなる場合も逆走は禁止される。また、他の車両の走行の妨害及び危険な行為を行ってはならない。

2.全ての参加者は競技役員の手指示に従わなければならない。主催者や役員及び他の参加者の名誉を傷つけるような言動をしてはならない。

3.参加者はサーキット走行のために体調万全な状態に保たなければならない。

第27条 賞典及び入賞制限

クラス別にトロフィーが授与され、台数により制限される。

3 台……1 位のみ 4～5 台……2 位まで 6 台以上……3 位まで

第28条 主催者特別出走枠

第 7 条決勝出走台数に加え、主催者が特別に許可する車両の出走枠を設ける。

第29条 参加料の返却

一度受理された参加料は返却されない。しかし、地震・風水害・降雪・事件・事故等、不可抗力による中止の場合、参加料の 80% を返却するものとする。

第30条 個人情報の取り扱いについて

主催者は個人情報の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を厳守するとともに、主催者の個人情報保護方針に基づき個人情報を取り扱います。ご提供頂いた個人情報は、ご本人から同意を得た場合または法令により許された場合を除き、第三者に提供いたしません。また、大会中に撮影された映像に関する所有権は主催者に帰属し、大会事務局発行のプログラム、チラシ、ポスター、ホームページへの掲載等、広報宣伝ツールとしてのみ使用致します。

補足・その他遵守事項について

■コースでの危険回避

- ・トラブル等で低速走行する場合は、コースの右側を走行して下さい。コーナーポストでは白旗対応が行われます。
- ・追い越しされる場合(追い越される側)は進路を変えずにそのままのラインを走行し、追い越す車輛(速い方)がラインを変えて追い越しをする事。
- ・ラインを譲りたい場合、進行方向にウィンカーを出して合図し、後続車に知らせる事ができる。
- ・コース上やグラベルに停止し、再スタートが出来ない場合は後続車両が来ていないか、必ず後方の安全確認をしてから車両を離れ、速やかにガードレールの外側に退避して下さい。ヘルメットは被ったままです。尚、オフィシャルの合図や指示に従ってください。

■FSWは高速サーキットです。車両の整備を万全に行ってください。

- ・FSWは高速サーキットです。車輛にかかる負担がかなり大きいことを十分に認識して整備は完全に行ってください。
- ・車両の整備不良による事故は、重大事故につながり人命にかかわることがあります。念には念を入れて整備してください。
- ・FSWはホームストレートが長く、第1コーナーでのフルブレーキング、ヘアピン、ダンロップコーナーなどのブレーキングは、ブレーキにかかる負担が大きいものがあります。ブレーキパッドはサーキット用を装着してください。また残量が充分にあるものを使用すること。
- ・オイル漏れ等は他の走行者に変な迷惑をかけます。オイル処理等で大幅に走行が中断するだけでなく、クラッシュ事故等の原因にもなります。必ずエンジンやデフ、ミッションなどのオイル漏れがないように完全に整備してください。
- ・レース中であっても、危険と判断された車両は走行を遠慮して頂く場合がありますのでご理解のほど、宜しくお願いします。

■場内の設備及びピット

- ・ピットは共同で使用願います。また、常に整理整頓して使用しましょう。
- ・ピット内は火気厳禁です。タバコ、ストーブ、ハロゲンヒーター、調理用コンロ等直火類は禁止です。

- ・ピット入口(シャッター前の通路)は駐車禁止です。テントも張れませんので通路の確保にご協力願います。

- ・ピットのエアージャックの数は限られておりますので、同じピットの方と分岐して使用して下さい。分岐ソケットは各自ご持参下さい。
- ・ピットの電源コンセントの分岐コンセントはご持参願います。尚、電気容量は限られておりますので大容量の機器がある場合は、発電機をご準備ください。
- ・ピットにはモニターがあります。コース画像、ラップタイムが写ります。
- ・ピットには水道蛇口とトイレがあります。キレイに使用してください。
- ・有料のシャワー施設があります。
- ・パドック内にレストラン&おみやげのショップがあります。(営業時間 8:30~15:30)
- ・ショップでは部品等の販売は行っておりません。

■パドックの利用について

- ・他のチームの迷惑にならないように駐車してください。
- ・レッカー車、救急車、その他緊急車両等の通路確保にご協力願います。
- ・駐車枠外の通路等へは駐車しないでください。
- ・パドック内は徐行です。一般の方もおりますので徐行運転をお願いします。
- ・テントを張る場合は、必ず強風対策を行ってください。

■入場について

- ・サーキットへの入場料は各自お支払の上、ご入場ください。(FSWライセンス、JAF会員、ゴールド免許等の各種割引があります)
- ・場外へ出る時は、ゲートにて半券にスタンプを押してもらい、再入場の際に利用してください。

■その他 注意事項

- ・走行するにあたり、体調の管理を万全にして下さい。
- ・サーキット走行は、冬でも発汗により脱水症状になる場合があります。水分は十分に摂取して下さい。
- ・走行する選手は飲酒、薬物、危険ドラッグ等を絶対に使用してはならない。

■車両について

参加車両はクラスの別に関係なく下記の項目を満たして下さい。

【エンジン】

- (1)当該コースにおいてブローバイガス還元装置のホースを吸気系より取り外す場合は排気量と同容量以上のオイルキャッチタンクを取り付け、オイルがコース上に飛散しないよう対策すること。
- (2)バッテリーターミナルは(+) (-)の両方にテーピング(絶縁テープが望ましい)を施すこと。
- (3)レベルゲージはスプリング等で抜け止めをすること。又、フィルターキャップ、ラジエーターキャップ等のキャップ類等にテーピングを施すこと。

【室内】

- (1)シートベルトは4点式以上を強く推奨する。なお、取り付けは確実に行うこと。
※シートレールとアイボルトの友締めは不可。
- (2)ガラス製のヘッドライトには、ビニールテープを使用し飛散防止用にテーピングをすること。又、灯火類は正常に作動すること。

【ボディ系】

- (1)オープン車両は4点式以上ロールケージ(運転席もカバーできる物)の装着を義務付ける。但し、オープン車両以外もロールケージの装着を強く推奨する。ロールケージの頂点は着座したドライバーのヘルメットより高いこと。
- (2) バッテリー位置変更については、バッテリーの重量に耐えうる台、またはホルダーを使用して確実に固定すること。尚、車室内に移動する場合はドライバッテリーを除き金属板で隔壁すること。
- (3) ドアの変更、改造を行う場合(FRP、カーボン製との交換、内張はがし等)安全を確保できる強度なサイドバー(車体フロアより20cm以上)を取り付けること。
- (4) スпойラー類の装着可。但しスポイラー類を装着し、当初から取り付けられている牽引フックの使用が困難な場合は、牽引フックを追加すること。
- (5) 安全上、支障のない部品の取り外しは認められるが、衝突時に強度が低下する様な軽量化は認められない。

【タイヤ ホイール系】

- (1)ホイールスペーサーの使用は原則として禁止するが、スタッドボルトを延長している場合はこの限りではない。尚、タイヤはフェンダーからはみ出さないこと。また、ホイールバランスウェイトにテーピングを施すこと。
※タイヤとボディは、インナーフェンダーも含め、どんな場合でも接触しないこと。

使用される信号旗と意味

走行中のドライバーに対し、監視ポストから信号旗が提示される。
(走者に情報を伝える唯一の道具です。)

黄旗一本		コースアウト車両など危険がある。注意しなければならない。 追い越し禁止区間。
黄旗二本		コース上に停止車両など重大な危険がある。充分に注意しなければならない。 追い越し禁止。
緑旗		前のポストの指示解除。 これより追い越しが可能となる。レース再開にも使用される。
白旗		スロウ走行車両や救急車など、低速車両がいる。
赤旗		レース中断、中止を示す。 全ての車両は充分に速度を落とし、各自のピットに戻らなければならない。
青旗		背後から早い車両が近づいていることを示す。
黒旗	 123	車番と共に提示され、当該車両にピットインを指示する。
黒白旗	 123	車番と共に提示される警告旗。 スポーツマンシップに反する行為などに対して警告される。
丸旗 ボム旗	 123	車番と共に提示される。当該車両はメカニカルトラブルの恐れ、もしくはメカニカルトラブルが発生していることを示す。一度ピットインして確認することを指示する。 メインポスト、4、12ポストで提示される。
スライフ旗		路面が滑りやすい。落下物がある。
SCボード		レースが非競技化されると、各ポストでは「S.C」ボードと黄旗表示が行われ追い越し禁止となり、セーフティカーが導入される。レース再開の合図が出るまでセーフティカーが先導し隊列走行を行う。ピットインは許される。
チェッカーフラッグ		レース終了を意味します。 誰もが受けたい特別な旗です。

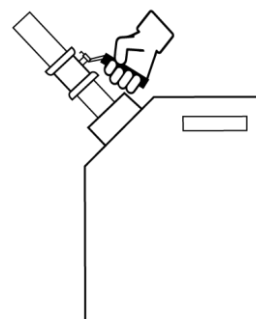
燃料補給に関するお知らせ

1. PIT 前作業エリアでの給油が可能です。
2. 給油の際エンジンは必ず停止して下さい。給油を行う方は、レーシングスーツや耐火・難燃性作業着などを着用して下さい。
また、同様の装備をした方が、消火器を持って待機して下さい。
3. ピットインして、車両交代をせず給油を行う場合は、給油時間を 4 分間とし、給油以外の作業は一切禁止です。
但し、給油終了後、4 分間に満たない場合でも、ドライバー交代は可能。
4. ガソリンスタンドにおいて、1 台でエントリーしているチームの優先給油は行いません。

5. 給油時間のカウント時間は、車両が PIT 前作業エリアに停止した瞬間からです。

給油缶は、市販の金属携行缶又は主催者が認めた製品のみです。

6. 給油のためのピットインをする 1 周前に、オフィシャルスタッフにピットインする旨を申告して下さい。
7. ピット内は火気厳禁です。電子タバコも禁止とします。
今まで以上に気を付けてください。



※ 給油缶は、90° 開閉式のバルブをホース途中に設け燃料漏出時に即時対応出来るよう対策することを推奨します。
それ以外は、市販時の形状、容量を保持して下さい。

タイヤ区分の解釈について

最近、限りなくスリックタイヤやSタイヤに近い高性能ラジアルタイヤが販売されておりますが、たとえ公道走行可能であっても、当イベントでは「レース用タイヤ」とみなします。

・スリックタイヤの扱いとなるもの



TOYO PROXES RR



HANKOOK VENTUS Z214



KUMHO ECSTA V710



Hoosier A7 & R7 & H7

・Sタイヤの扱いとなるもの



NANKANG AR-1

※あくまでも一例です。区分が不明の場合は、大会事務局にお問合せください。